

東日本大震災の瓦れき受け入れに関する決議

昨年3月11日に発生した東日本大震災とそれに続く津波により、岩手、宮城、福島3県では、約2,200万トン以上もの膨大な瓦れきが発生しました。これらの瓦れきは、震災から1年経過した現在でも6%程度しか処理されておらず、被災地の復旧・復興の大きな障害となっています。

7・13水害、中越大震災を経験した本市においてもそうだったように、復旧・復興には災害廃棄物の速やかな処理が不可欠です。しかしながら、東日本大震災の瓦れきは、放射能に対する危惧等があり、全国的に受け入れが進んでいないのが現状であります。

よって、市におかれては、市民の安全・安心の確保と市民の理解を前提とした上で、科学的な知見により放射能の影響を検証するとともに、放射線量測定体制の整備と測定結果の徹底した開示を行い、国とともに市民への説明責任を履行することを条件に、通常の廃棄物相当と判断される瓦れきをできるだけ早く受け入れるよう、強く要請いたします。

以上、決議する。

平成24年3月28日

長 岡 市 議 会